

## 惣開校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時 平成30年8月10日（金）19:00～20:10  
場所 惣開公民館  
司会・進行 藤原連合自治会長  
参加者数 男 54人 女 25人 合計 79人



### 1. 市の重点事業に関する質問

#### 質疑応答（要約）

①小学校のエアコンの設置について、愛媛県の設置率は5%ぐらいで、前からエアコンの話は出ていたと思うが、これから毎年暑くなると思うが、設置が31年度というのは遅くないか。

【市長回答】設計に時間がかかっているが、国の補正予算が出されれば今年度中に設置したいと考えている。中学校についても国の予算等をみながら早く設置したいと考えている。

②日暮別邸について、いつ完成するのか。

【市長回答】移転等については9月末で完成し、10月の祭り明けには、落成式をやりたいと住友さんから伺っている。できれば市民の方へも公開する方向で考えているようだ。

③先日の大雨で、町内の山の斜面が崩れ、近隣の高齢者の方が公民館へ避難した。前々からいつか崩れるとは思っていたが、防災について地域住民保護の観点から、どのように対策を考えているのか。

【建設部長回答】がけ崩れの対策については、原則、土地の所有者又は被害受けるおそれのある当事者が行うものである。しかしながら、がけの規模、保全戸数及び工事に必要な用地の寄付など一定の条件を満たすものにつきましては、県及び市により対策工事を行う

ことが可能となっている。

まず、県での対策工事の可能性につきましては、今回土砂崩れが発生した箇所は保全人家が少ないことから、愛媛県が実施する急傾斜地崩壊対策事業での施工はできないとの回答だった。また、市で実施する対策事業につきましては、個人負担が発生するため、現在は事業を進めてはいませんが、対策についての要望があれば施工について検討を進めます。

## 2. 連合自治会共通の市政課題

①市から説明（原次長）

②連合自治会から説明（藤原連合自治会長）

質疑応答（要約）

①（実際の質問は重要事業時であったが、内容が防災のため、こちらで回答）

風雨、地震、津波と災害の種類によって、避難場所が異なるが、どのような場合にどこへ行けばいいのか。

【防災安全課長回答】本日渡した資料の下段に避難所関係の表がある。そこに災害の種類と緊急避難場所について示している。（例示で説明）

②防災情報の入手方法について、自治会の広報では雨風が強いと、防災情報が聞こえにくい時があるが、そんな場合はどうすればいいのか。

【市長回答】そのためのラジオだ。市からの防災に関する情報はラジオを通じてお知らせできる。その他の情報については、自らホームページ等を通じて見に行かないとわからないが、ラジオがあれば流してくれる。

③惣開校区は防災士が4人しかいない。できれば各単位自治会に防災士が最低1名入るように毎年養成講座を開催していただきたい。また、避難所に中学校も指定されていることから、中学生防災士の養成に取り組んではいかがでしょうか。そうすることで家庭内における防災意識も高まるし、地域の連携もうまくいくのではと思うがいかがか。

【市民部長回答】市全体から見ると防災士の数的には非常に少ない校区である。毎年市内で50人程度の防災士を要請しているので、単位自治会に1名の防災士がいるように積極的に推薦していただきたい。また、防災士の年齢制限はないので、中学生の防災士養成についても積極的にお願いしたい。